

金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。

今回は、鹿児島県立霧島高等学校教諭・新留崇夫先生にいどむが商業科教師として取り組んでいるキャリア教育分野を中心とした金融教育の実践をご紹介します。

商業科で多彩な金融教育実践

新留先生は鹿児島県の高校商業科で約20年間の経験を持つベテラン教師です。これまでも各赴任校で、「販売体験」、「インターンシップ」など、生徒の成長段階に応じた体系的な金融教育を実践したほか、県内の島嶼地区の高校では地元焼酎の知的財産を研究し、県内商業科として初めて商標登録を行いました。このほかにも、地元企業と連携した商品開発や観光商品開発、インターンシップの開設・運営なども手がけてきました。

霧島高校赴任後は、近隣の国分中央高校、財部高校の商業科の先生方と協力して「環霧島高校生会議」を設立、鹿児島県金融広報委員会より

金融教育研究グループの委嘱を受けました。各校で金融教育の指導法や実践のあり方を研究するなかで生まれたのが、「長期型インターンシップの実践・研究」です。

「霧島高校には県立高校で唯一、観光の学習ができる総合学科『観光ビジネスコース』があります。その特色を生かした『おもてなし活動』と『ホテル実習』は、金融教育におけるキャリア教育分野の実践にふさわしいと考えました」（新留先生）。



「おもてなし」と「ホテル」、 二つの観光ビジネス

霧島高校の「おもてなし活動」と「ホテル実習」は2年生の1、2学期に行われています。

鹿児島県
鹿児島県立霧島高等学校
新留崇夫教諭



「おもてなし活動」は、1学期の毎週金曜日、JR肥薩線の嘉例川（かれいがわ）駅で行います。同駅は1903年に開業した当時の木造駅舎が残る国の登録文化財に指定された観光名所。そこに観光列車で訪れる観光客を歓迎し、地元の霧島茶でもてなすという活動です。

「生徒たちが提供するのには旅の『想い出』です。おいしいお茶を飲んでいただくために、絶妙のタイミングを見計らって準備を行いますし、出会いと別れのシーンは『感動』そのものです。観光客に喜ばれるのはもちろん、地域の方々からもこの活動には大きな期待が寄せられています」と新留先生。活動を始めてからは、『鉄道の日イベント』や市の『環霧島周遊列車観光ツアー』、その他セレモニーへの参加依頼が来るようになるなど予想以上の反響がありました。

さらに観光商品開発の依頼もありました。そこで県内の商業高校で初めて「日帰りバスツアー」の商品を企画、ネット販売し、生徒たちが観光ガイドまで務めました。ラジオなどにも出演し、霧島の観光PRに一役買うなど、その活躍は多岐にわたります。

また、「ホテル実習」は霧島市観光協会と地元ホテルの協力により、2学期の毎週金曜日を実施しています。

「この活動は主に客室清掃に従業員の一人として参加するもので、職場体験ではなく『職業訓練』として、通常の従業員と同じ役割をこなす点が大きな特徴です。生徒たちの頑張りが高く評価されており、大変けい達成感は大きいです。インターンシップを経験すると、社会人としての基礎力が高まり、生徒たちが自主的な活動ができるようになったことも成果の一つと言えるでしょうね」と新留先生は語ります。

商業科で学べる 金融教育の総合力

「実は、商業科の教育は金融教育の内容の95%をカバーしており、通常の授業そのものが金融教育に関連しています」と新留先生が話すように、このインターンシップを含め、金融教育全体を意識しているのが、先生のカリキュラムデザインの特徴です。（表1）

先生のカリキュラムでは、商業科のほかに、家庭科で『消費者生活』、公民科で『金融や経済の仕組み』などを学ぶとともに、外部講師による

チラシデザインは、生徒たちが市販のプレゼンテーションソフトで作成して業者が仕上げたもの

【表1】新留先生の金融教育における
キャリア教育分野・経済分野・消費生活分野のカリキュラム

■ 高2

4月 **代表生徒が地元の製茶工場訪問**
お茶の製造方法や霧島茶の歴史、生産農家の現状をヒアリング
お茶のインストラクターより、おいしいお茶の淹れ方指導を受ける
全員でお茶の淹れ方実習（短時間で多くのお茶を準備する手順の確認・実践）
嘉例川駅に関する歴史など簡単な説明ができるよう学習

5月～7月 **毎週金曜日に「おもてなし活動」**
朝、学校でお湯・茶器・テーブルのぼりを準備して嘉例川駅へ到着後、周辺の清掃をしながら観光列車を待つ
10時25分 観光列車「はやとの風」到着（停車時間15分）
おいしい霧島茶でおもてなし
観光記念に写真撮影のお手伝い
10時40分の出発を横断幕で見送り

9月 **鹿児島と霧島の観光の歴史を学ぶ授業**
温泉の効能、旅館やホテルの部屋割り方法まで学習

10月～12月 **毎週金曜日に従業員として「職業訓練」**
実際に従業員の一員として同じ業務を行う
例：清掃業務＝3時間で18部屋（1部屋10分で清掃）

3学期1月または2月 **「金融経済教育講座」（外部講師による出前講座）**
適切な金融商品、金融手段を選択できるように、商品の仕組みや契約にあたっての基本姿勢を学ぶ

■ 高3

7月 **「ライフプランニング授業」（外部講師による出前講座）**
将来設計をグループワークで検討しながら、ライフプランシミュレーションを行い、分析・改善によって金融感覚を身につけていく

8月 **進路相談**

「金融経済教育講座」（2年生の3学期）、「ライフプランニング授業」（3年生の7月）を受講し、3年生の8月にいよいよ進路指導（面談）に臨むという流れにしているといます。『海を觀し者には水を為し難し』とはこのことでしょう。総合的な金融教育を受けた生徒たちはカリキュラムが終わる3年生の8月には、進路への意識が変わり、すっかり現実に向き合う姿勢ができています。また、地域の方から直接感謝の言葉をいただいたことで、社会貢献の意義や感謝の気持ちを肌で感じ取り、地域のために頑張ろうという意欲も出てきます。相手のためを思って行動

する『思いやりの心』も生まれ、人間的に一回り大きくなっていますね」というのが新留先生の評価です。『おもてなしの心』や「働く意義」についての学びが「思いやりの心」や「学習意欲」、「社会への貢献」へとつながるだけでなく、検定試験や資格取得などの学習成果にも顕著に現れ、資格取得率は約3倍に。また、就職先も地元志向が高まり、地元のホテルへ就職する生徒が増える一方で、離職率は低下しているといえます。今年で4年目を迎えた霧島高校の「長期型インターンシップ」の取り組みは、すでに学校の教育課程としてしっかり定着しているのです。

新留先生は、自身の研究を深める取り組みとして「先生のための金融教育セミナー」（主催：金融広報中央委員会）や「金融・金銭教育協議会」（主催：鹿児島県金融広報委員会）、「日本商業教育学会」などに積極的に参加し、報告活動を行っています。2015年度はさらに研究を進展させるため、鹿児島県長期派遣教員として鹿児島大学の大学院に進み、「新たな時代に求められる金融教育カリキュラムの開発」をテーマ

商業科における
金融教育の可能性とは

※「故觀於海者難為水、遊於聖人之門者難為言＝故に海を觀し者には水と為し難く、聖人の門に遊びし者には言と為し難し」（孟子・尽上）

【表2】 商業科における金融教育プログラムの例

金融教育		商業・家庭・公民	
学習目標	評価の観点	科目	到達性
金融の働きや役割を理解する	知識・理解	ビジネス基礎 ビジネス基礎 社会実践 ビジネス基礎 マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング	銀行ビジネスと金融教育 社会実践の基礎 社会科に関する実践 銀行ビジネスと実業 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践
		銀行ビジネスと金融教育 社会実践の基礎 社会科に関する実践 銀行ビジネスと実業 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践	
金融機関の役割、中央銀行の機能について理解する	知識・理解	ビジネス基礎 社会実践 ビジネス基礎 マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング	銀行ビジネスと金融教育 社会実践の基礎 社会科に関する実践 銀行ビジネスと実業 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践
		銀行ビジネスと金融教育 社会実践の基礎 社会科に関する実践 銀行ビジネスと実業 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践	
金融の働きについて理解する	知識・理解	ビジネス基礎 ビジネス基礎 社会実践 ビジネス基礎 マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング	銀行ビジネスと金融教育 社会実践の基礎 社会科に関する実践 銀行ビジネスと実業 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践
		銀行ビジネスと金融教育 社会実践の基礎 社会科に関する実践 銀行ビジネスと実業 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践	
金融の働きや役割を知り、金融機関の役割を理解する	知識・理解	ビジネス基礎 ビジネス基礎 社会実践 ビジネス基礎 マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング マーケティング	銀行ビジネスと金融教育 社会実践の基礎 社会科に関する実践 銀行ビジネスと実業 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践
		銀行ビジネスと金融教育 社会実践の基礎 社会科に関する実践 銀行ビジネスと実業 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践 社会実践	

に研究をしています。
「高校の商業科における金融教育は、金融広報中央委員会の『金融教育プログラム』に示されている『生活設計・家計管理』、『消費者生活』、『金融や経済の仕組み』、『キャリア教育』の4つの分野に広く内包されていますが、なかでもとくに『キャリア教育』の分野は地域における商業教育の実践としても大きな期待が

寄せられています」と新留先生は解説します。(表2)
「現在の教育は、通常『知っている(知識・理解)』↓分かる(技能)↓使える(実践)』の順番に進められますが、『経験から学ぶこと』に主眼をおくと、学習の順番が『実践↓技能・方法↓知識・理解』となり、誰もがまず実践を経験することとなります。私はインターンシップを通じて、生徒の

思いがけない長所を見つけたこと、知識・理解の面では目立たなかった生徒たちが予想以上の実践力を発揮したことなど、従来の学習指導案では測れない生徒たちの潜在的な能力を目の当たりにしました。実際の活動を体験した生徒たちが、自分の進



路に自信を持って社会に出ていく頼もしい姿を見るにつけ、実践の大切さを実感しています。
「『金融教育プログラム』の内容を見ると、金融教育は新しく始める教育ではなく、普段の授業の中で実践しているものであり、決して難しいことではないことが分かります。学校で金融教育に関わる先生が、『新しいこと』ではなく、知識を再構成し定着させる授業を企画していただければ、18歳で社会に出る子どもたちに、長く安心して暮らしていくための知識・知恵を身に付けさせることができますのではないかと思います」と新留先生は提案しています。

金融教育の現場レポート

『商業科は金融教育の宝庫』
～長期型インターンシップで生きる力を養う～

鹿児島県
鹿児島県立霧島高等学校 新留崇夫教諭